

# 環境経営レポート

2025年度版(第15版)

(対象期間 2024年7月～2025年6月)



発行日 2025年10月



有限会社 光和エンジニアリング

# 目次

1. 環境経営方針	1
2. 事業概要	2
3. 実施体制図	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	6
7. 環境経営目標の実績	8
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	9
9. 次年度の取組計画	10
10. 環境関連法規等の遵守状況・違反と訴訟等の有無	11
11. 代表者による全体評価と見直し結果	12

# 1. 環境経営方針

## 環境理念

私たちは電気工事業として事業活動において、自然環境の保全を意識して [創意工夫] を基本に環境負荷の低減を図り、自主的に環境保全活動に取り組みます。

## 行動指針

適用される環境関連法規を遵守して以下の項目を推進する。

- (1) 徹底して省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (2) 節電に努め電気使用量の削減に取り組みます。
- (3) 化石燃料使用量の削減に努めます。
- (4) 省資源、ゴミの分別の推進により廃棄物排出量の削減に努めます。
- (5) 節水に努め総排水量の削減に取り組みます。
- (6) 事務用品、建設資材のグリーン購入を推進します。
- (7) 環境負荷の低減を目指した施工を推進します。
- (8) 周辺環境の社会貢献活動を推進します。

本環境経営方針を全従業員に周知徹底実行し、環境経営の継続的改善に努めます。


制定日 2010年10月30日

改定日 2025年 10月30日

有限会社 光和エンジニアリング

代表取締役 屋宜 憲保

## 2. 事業概要

- 1 事業者名  有限会社 光和エンジニアリング
- 2 代表者名 代表取締役 屋 宜 憲 保
- 3 所在地 本社 〒902-0075 那覇市字国場1019番地の2  
TEL 098-834-2168 Fax 098-834-2762  
E-mail kowaengi@orange.ocn.ne.jp
- 4 建設業の許可 建設業の種類 電気工事業 管工事業  
許可番号 沖縄県知事許可（特定-2） 第545号
- 5 資本金 ,0
- 6 沿革 創業 1972年1月 光和電気設立  
設立 1981年3月 有限会社 光和エンジニアリングへ組織変更
- 7 事業内容 電気設備工事 消防施設工事 空調設備工事  
設計・施工 保守管理業務  
<http://www.kowaengi.com>

### 8 事業の規模

区分	43期/2023年度 (2022. 7. 1-2023. 6. 30)	44期/2024年度 (2023. 7. 1-2024. 6. 30)	45期/2025年度 (2024. 7. 1-2025. 6. 30)
完成工事高（万円）	73,643	41,008	56,626
従業員数（人）	29	28	28
延べ床面積（㎡）	74	74	74

- 9 EA21管理担当者 環境管理責任者 屋宜憲保  
担当者 玉那覇奈津子  
連絡先 TEL 098-834-2168

### 10 EA21対象範囲

全組織・全活動

(1) 対象事業者

有限会社 光和エンジニアリング

(2) 対象事業所

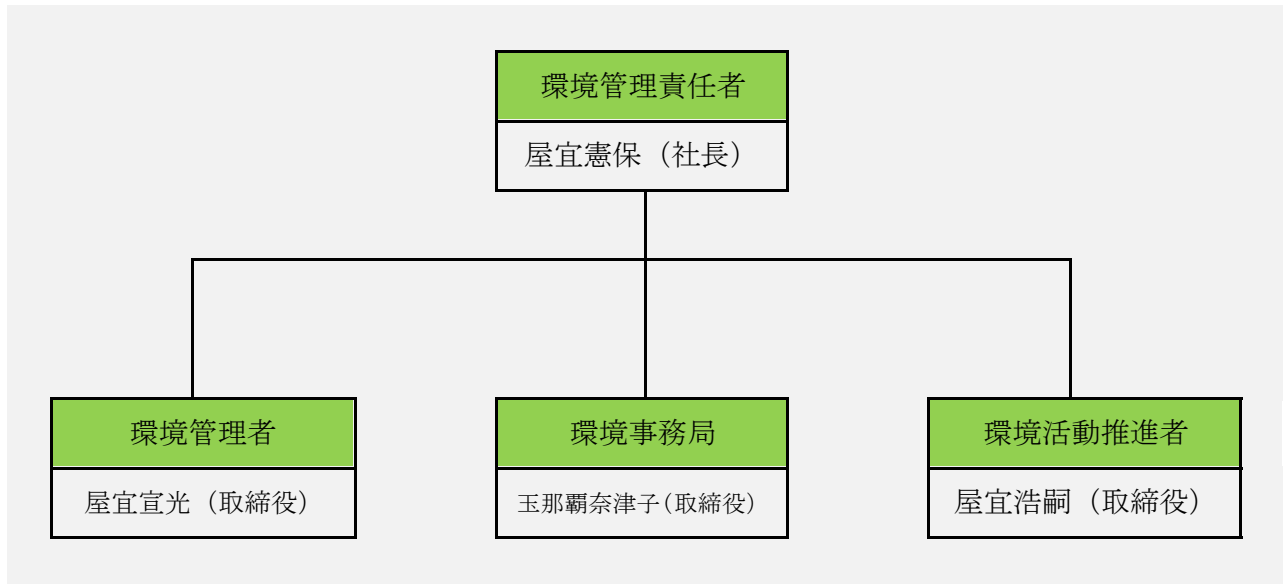
本社、八重瀬町営業所

(3) 対象活動

電気設備工事・消防施設工事・空調設備工事の設計・施工、  
保守管理業務

### 3. 実施体制図(事業所及び建設現場)

- ・エコアクション21の取組を実施するために、社内に次のような実施体制を構築し、それぞれの役割を定めて、全社員が一丸となって取り組みました。



役割・担当者・担当内容

役割	担当者	担当内容
環境管理責任者	社長 屋宜憲保	環境経営方針の作成 環境経営レポートの作成
環境管理者	取締役 屋宜宣光	EA21実施・確認・建設資材グリーン購入 廃棄物排出量の削減担当
環境事務局	取締役 玉那覇奈津子	文書作成・記録・事務用品グリーン購入 水使用量の削減担当
環境活動推進者	取締役 屋宜浩嗣	EA21取り組み活動実施 環境に配慮した施工の実施

## 4. 環境経営目標

- ・環境経営目標は、現在の事業活動を踏まえて、2024年度を基準年として2025年度～2027年度までの中長期目標として、以下の5項目9目標を設定しました。
- ・削減目標については、基準年実績値から毎年1%ずつ削減し、2027年度までに3%削減を目指します。

環境経営目標項目	単位	基準年	中長期目標		
		2024年度 (2023.7～2024.6) 実績値	2025年度 (2024.7～2025.6) (△1%)	2026年度 (2025.7～2026.6) (△2%)	2027年度 (2026.7～2027.6) (△3%)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	79,617	78,821	78,025	77,228
(1) 電力使用量の削減	kWh	23,870	23,631	23,393	23,154
(2) ガソリン使用量の削減	L	24,911	24,662	24,413	24,164
(3) 軽油使用量の削減	L	2,214	2,192	2,170	2,147
2. 廃棄物排出量の削減					
(1) 一般廃棄物排出量の削減	kg	不明	現状把握	2025年度実績から目標設定	
(2) 産業廃棄物排出量の削減	kg	12,875	12,746	12,618	12,489
3. 水使用量の削減（上水）	m <sup>3</sup>	145	144	142	141
4. グリーン購入の推進	-	-	事務用品、電設資材の環境配慮商品購入の推進。		
5. 創意工夫による施工	-	-	創意工夫により施工品質の向上、安全衛生関係の改善を図る。		

備考）・購入電力の排出係数は、沖縄電力（株）の2023年度調整後排出係数（0.638kg-CO<sub>2</sub>/kWh）を使用した。

・（ ）内の数値は、基準年（2024年度）実績値 に対する削減率を示す。

・化学物質は使用していないので目標から除外した。

## 5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組、担当者、スケジュールを定めて、全社員で取り組みました。

環境経営目標項目		具体的な取組	担当者	スケジュール
1. 二酸化炭素排出量の削減	(1) 電力使用量の削減	エアコンの室内温度を設定する。(冷房温度28℃)	屋宜浩嗣	冷房期: 4月～11月 暖房期: 1月～2月
		エアコンや換気扇のフィルター清掃をこまめに実施する。		同上
		休憩時間や使用時以外の部屋の消灯を徹底する。		通年
		照明やエアコン等のスイッチ側に省エネステッカーを表示する。		通年
		退社時の消灯を徹底する。		通年
		退社時のOA機器の電源を切る。		通年
		外灯にセンサーを取り付ける。		通年
	(2) ガソリン (3) 軽油使用量の削減	エコドライブの徹底を図る。		通年
		駐車場等で長時間アイドリングを行わないよう徹底する。		通年
		タイヤの適正な空気圧を保つ。		通年
		積載重量を軽くするため車両には不要なものを載せない。		通年
		現場における建設機械は「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基き指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。		通年
				通年
2. 廃棄物排出量の削減	(1) 一般廃棄物排出量の削減	FAX及び事務書類を電子化して紙印刷を少なくする。	屋宜憲保	通年
		印刷済みのコピー用紙を裏紙として再利用する。		通年
		事業所の廃棄物の分別・リサイクルを徹底する。		通年
		使い捨ての物は極力使用せず一般ごみの削減を図る。		通年
	(2) 産業廃棄物排出量の削減	建設現場の廃棄物の分別・リサイクルを徹底する。		通年
		建設現場においては、「創意工夫」に努め廃棄物の最小排出工法を提案協議する。		通年
3. 水使用量の削減	節水の意識向上を図る。(節水表示プレート取付)		玉那覇奈津子	通年
	手洗い時に水を出しっぱなしにしない。			通年
	洗車及び掃除用水等は雨水タンクの水を利用する。			通年
4. グリーン購入の推進	事務用品、電設資材の環境配慮商品購入の推進		玉那覇奈津子	通年
5. 創意工夫による施工	創意工夫による施工品質の向上、作業環境の改善を推進する。		屋宜憲保	通年

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

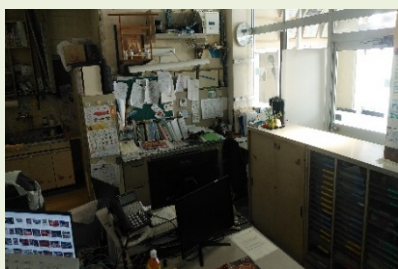
・環境経営計画に基づき、2025年度に実施した環境への取組は以下のとおりです。ここでは、各取組をSDGs(17のゴール)と紐付けて示しました。

### 1. 二酸化炭素排出量の削減



#### ■事務所内の取組

- ①夏期のエアコン設定温度は28℃を目安としています。
- ②昼休みの休憩時間は消灯を徹底しています。
- ③照明やエアコン等のスイッチ側に省エネステッカーを表示して意識付けをしています。



昼休みの消灯



省エネステッカー

#### ■車両使用時の取組

- ④営業車等社有車の運転はエコドライブ(急発進、急停車禁止、アイドリングストップ等)を徹底しています。
- ⑤現場用車両は燃費の良い軽自動車を使用しています。



エコドライブ10のすすめ

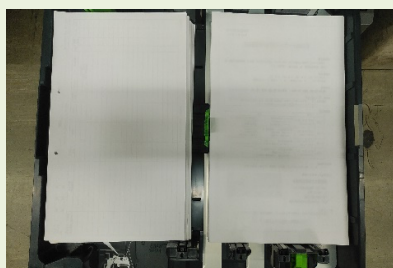


現場用車両(軽自動車)

### 2. 廃棄物排出量の削減



- ①事務所内ではペーパーレス化と裏紙使用を徹底しています。
- ②事業所及び建設現場の廃棄物の分別・リサイクルを徹底しています。



印刷済みのコピー用紙の裏紙使用



資源ごみの分別排出

### 3. 水使用量の削減



- ①水使用場所に節水プレートと取り付け、従業員の節水意識を高めています。
- ②雨水タンクの水を戦車等に使っています。



水使用場所に節水プレート設置



雨水の積極的使用

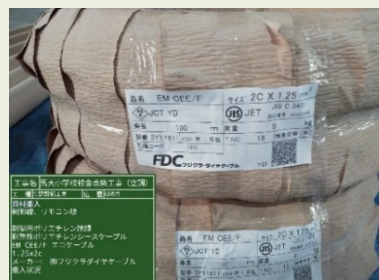
### 4. グリーン購入の推進



- ①事務用品はエコ商品を率先して購入しています。
- ②電設資材もエコケーブル等環境配慮型のを調達しています。



グリーン購入商品



エコケーブルの使用

### 5. 創意工夫による施工



- ①受注した工事は施工品質の向上、作業環境の改善に努めています。

### 6. 地域貢献活動



- ①2011年3月那覇市国場に『こくばめーばる公園』が整備されたと同時に清掃活動をしています。
- ②2021年1月より、那覇市国場中央線両側歩道の月に1度の除草作業に取り組んでいます。
- ③毎年尚巴志ハーフマラソン大会前に、南城市商工会建設部会主催の草刈り作業のボランティア清掃に参加しています。



国場中央線両側歩道の清掃活動



南城市商工会建設部会主催の草刈り作業のボランティア清掃



## 7. 環境経営目標と実績

- ・2025年度運用期間における環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した5項目9目標のうち3項目5目標で達成でき、2項目4目標で達成できませんでした。
- ・この状況を目標達成率でみると、最大の環境負荷である二酸化炭素排出量の目標達成率は99%であり、今後の取組如何では十分に目標達成レベルにあることが分かります。
- ・その他の目標項目については、廃棄物、水使用、グリーン購入、本業目標とした”創意工夫による施工”はいずれも目標を達成していますので、今後もこの取組を継続していきます。
- ・なお、産業廃棄物については、受注業務の内容で排出量が大きく変化するため、今後は”リサイクル率”等に変更することを検討していきます。

環境経営目標項目	単位	基準年 2024年度 (2023.7~2024.6) 実績値	2025年度運用期間 (2024.7~2025.6)		目標 達成率	目標 達成 判定
			目標 (△1%)	実績		
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	79,618	78,822	79,532	99%	△
(1) 電力使用量の削減	kWh	23,870	23,631	24,489	96%	△
(2) ガソリン使用量の削減	L	24,911	24,662	25,167	98%	△
(3) 軽油使用量の削減	L	2,214	2,192	2,140	102%	○
2. 廃棄物排出量の削減						
(1) 一般廃棄物排出量の削減	kg	不明	現状把握	1,592		○
(2) 産業廃棄物排出量の削減	kg	12,875	12,746	4,110	310%	◎
3. 水使用量の削減（上水）	m <sup>3</sup>	145	144	164	88%	△
4. グリーン購入の推進	-	-	事務用品、電設資材の環境配慮商品購入の推進。	リサイクルトナー、再生紙等環境配慮商品の購入に努めた。	-	○
5. 創意工夫による施工	-	-	創意工夫により施工品質の向上、安全衛生関係の改善を図る。	受注工事に対しては施工品質の向上、安全衛生関係の改善に努めた。	-	○

備考)

- ・購入電力の排出係数は、沖縄電力(株)の2023年度調整後排出係数(0.638kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。
- ・( )内の数値は、基準年(2023年度)実績値に対する削減率を示す。
- ・目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100
- ・目標達成判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可

## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価

- ・環境経営計画で定めた具体的な取組については、全体として概ね適切に実施することができました。
- ・次年度は、今年度目標未達となった項目を中心に、その取組を周知徹底することで目標達成を目指します。

環境経営目標項目	目標達成状況	具体的な取組	取組実施状況	評価		
1.二酸化炭素排出量の削減	(1)電力使用量の削減	△	エアコンの室内温度を設定する。(冷房温度28℃)	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は概ね適切に実施できたが、電気使用量の削減がやや不十分で、二酸化炭素排出量は僅かに目標を上回った。</li> <li>・しかし、目標達成率が98%で、今後の取組如何で十分達成可能なレベルにあることから今後も引き続き、現在の取組を継続し、周知・徹底していく。</li> </ul>	
			エアコンや換気扇のフィルター清掃をこまめに実施する。	△		
			休憩時間や使用時以外の部屋の消灯を徹底する。	◎		
			照明やエアコン等のスイッチ側に省エネステッカーを表示する。	◎		
			退社時の消灯を徹底する。	◎		
			退社時のOA機器の電源を切る。	◎		
			外灯にセンサーを取り付ける。	◎		
	(2)ガソリン (3)軽油使用量の削減	△ ◎	(2)ガソリン	エコドライブの徹底を図る。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は適切に実施できたが、ガソリンが僅かに目標未達となった。</li> <li>・しかし、目標達成率が98%で、十分達成可能なレベルにあることから今後も引き続き現在のエコドライブの取組を継続すると共に、計画的に燃費の良い車両の更新も進めていく。</li> </ul>
				駐車場等で長時間アイドリングを行わないよう徹底する。	○	
				タイヤの適正な空気圧を保つ。	○	
				積載重量を軽くするため車両には不要なものを載せない。	◎	
				現場における建設機械は「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基き指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。	○	
	2.廃棄物排出量の削減	(1)一般廃棄物排出量の削減	○	FAX及び事務書類を電子化して紙印刷を少なくする。	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は適切に実施されている。</li> <li>・引き続き、現在の取組を継続していく。</li> </ul>
印刷済みのコピー用紙を裏紙として再利用する。				◎		
事業所の廃棄物の分別・リサイクルを徹底する。				○		
使い捨ての物は極力使用せず一般ごみの削減を図る。				○		
(2)産業廃棄物排出量の削減		○	建設現場の廃棄物の分別・リサイクルを徹底する。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は適切に実施され目標も達成しているが、受注工事の内容で排出量が影響するため、今後は新たな目標項目を検討していく。</li> </ul>	
			建設現場においては、「創意工夫」に努め廃棄物の最小排出工法を提案協議する。	—		
3.水使用量の削減	○	節水の意識向上を図る。(節水表示プレート取付)	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は適切に実施され、目標も達成している。</li> <li>・引き続き、現在の取組を継続していく。</li> </ul>		
		手洗い時に水を出しっぱなしにしない。	◎			
		洗車及び掃除用水等は雨水タンクの水を利用する。	◎			
4.グリーン購入の推進	○	事務用品、電設資材の環境配慮商品購入の推進	◎	・今後も取組を継続する。		
5.創意工夫による施工	○	創意工夫による施工品質の向上、作業環境の改善を推進する。	◎	・今後も取組を継続する。		

備考) 目標達成判定区分 ◎:目標達成率120%以上、○:100%以上120%未満、△:80%以上100%未満、×:80%未満、-:判定不可

実施状況判定区分 ◎:よく実施できた(定着) ○:実施できている △:ほぼ実施できている ×:実施できていない -:判定不可

## 9. 次年度の取組計画

### (1) 環境経営目標

- ・次年度の環境経営目標は、当初の中長期目標に基づき2026年度目標を適用しますが、一般廃棄物は2025年度で排出実態(可燃ごみ+資源ごみ)が把握できたため、2026年度から再設定しました。
- ・また、産業廃棄物については、受注工事の内容で排出量が大きく変化するため、次年度からこの影響を最小化するため目標単位を”排出量”から”リサイクル率”に変更し、2026年度は「現状把握」を目標にして、把握した実績値から2027年度以降の数値目標を設定することとしました。

環境経営目標項目	単位	基準年 2024年度 (2023.7~2024.6) 実績値	目標		
			2025年度 (2024.7~2025.6) (△1%)	2026年度 (2025.7~2026.6) (△2%)	2027年度 (2026.7~ 2027.6) (△3%)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	79,618	78,822	78,026	77,229
(1) 電力使用量の削減	kWh	23,870	23,631	23,393	23,154
(2) ガソリン使用量の削減	L	24,911	24,662	24,413	24,164
(3) 軽油使用量の削減	L	2,214	2,192	2,170	2,148
2. 廃棄物排出量の削減					
(1) 一般廃棄物排出量の削減	kg	1,592※	現状把握	1,560	1,544
(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上	% (リサイクル率)	-	-	現状把握	2026年度実績値から数値目標を設定する
3. 水使用量の削減 (上水)	m <sup>3</sup>	141	140	138	137
4. グリーン購入の推進	-	-	事務用品、電設資材の環境配慮商品購入の推進。		
5. 創意工夫による施工	-	-	創意工夫により施工品質の向上、安全衛生関係の改善を図る。		

備考) ・購入電力の排出係数は、沖縄電力(株)の2023年度調整後排出係数(0.638kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

・( )内の数値は、基準年(2024年度)実績値に対する削減率を示す。

※一般廃棄物排出量の2025年度実績値を示す。

・化学物質は使用していないので、目標から除外した。

### (2) 環境経営計画

- ・次年度の環境経営計画は、本年度の取組が概ね良好であったため現計画を継続することとします。
- ・なお、目標未達となった項目(二酸化炭素排出量、電気、ガソリン、水)については、取組の周知を徹底し全社員で取組を強化して目標達成を目指します。

## 10. 環境関連法規等の遵守状況・違反と訴訟等の有無

- ・現在の事業活動で遵守すべき主要な環境関連法等は、以下のとおりです。
- ・2025年度運用期間終了後に法令遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係当局からの違反の指摘、利害関係者からの苦情、訴訟も過去3年間ありませんでした。

No	主な適用法規	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	産業廃棄物収集・運搬業者の許可の確認、マニフェストの交付と回収、照合	○
2	建設リサイクル法	建設廃棄物の発生抑制、特定建設資材の再資源化	○
3	家電リサイクル法	物品購入に際し、できるだけ環境物品等を選択	○
4	消防法	消火、通報及び避難の訓練、消火器設置	○
5	沖縄県生活環境保全条例	事業活動に伴って生じる環境負荷の低減、県が実施する生活環境保全施策に協力	○
6	フロン排出抑制法	空調機の簡易点検 空調機の廃棄及び修理時のガス回収処理	○

備考) 遵守評価区分 ○: 遵守、×: 不遵守、-: 該当なし

2025年10月30日  
 有限会社 光和エンジニアリング  
 環境管理責任者 屋宜 憲保

## 11. 代表者による全体評価と見直し結果

- ・2025年度における代表者による取組状況の全体評価と見直し結果は、以下のとおりです。

### (1) 取組状況の全体評価

- ・2025年度を取組状況は全体的に概ね良好な結果で、決められた取組も適切に実施されています。
- ・最大の環境負荷である二酸化炭素排出量は目標達成率が99%で僅かに目標を上回りましたが、今後の取組如何によっては十分に目標を達成できるレベルにあります。
- ・今後は、この排出源となっている電力やガソリン使用量を削減するために、電力に対しては空調機の温度管理、昼休み時は事務所内消灯を徹底、倉庫内使用時のみ点灯、PM6時には事務所内消灯閉所し、引き続き節電を行います。またガソリンに対してはエコドライブを今後も徹底していくと共に、燃費の良い車両への計画的な更新も進めるて参ります。

### (2) 計画の見直し結果

- ・産業廃棄物については、受注工事の内容で排出量が大きく変化するため、次年度からこの影響を最小化する措置として目標を「排出量の削減」から「リサイクル率の向上」に変更します。この考え方は、リサイクル量を増やし埋立処分量を減らすことで県内の埋立処分場の延命化に貢献するもので、2025年度は「現状把握」を目標にして、把握した実績値から2027年度以降の数値目標を設定することとします。
- ・一般廃棄物については、ここ数年排出量の増減が大きいので2025年度に把握した実績値を基準に、新たに数値目標を再設定します。
- ・現在実施しているボランティア活動に対しても、エコアクション21の本計画に取り込み、今後目標化していきます。